

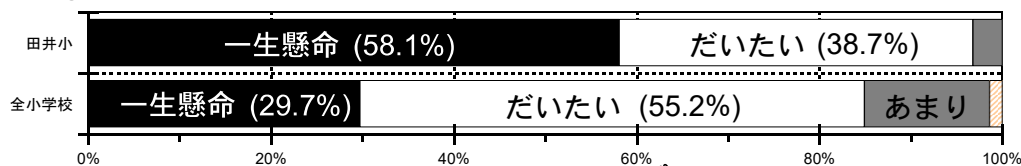


見附市共通アンケート（保護者）から見える成果

毎年見附市では7月と12月に全小中学生とその保護者を対象に20項目以上にわたる共通アンケートを実施しています。その結果から、見附市全体の傾向を把握するとともに、自校の成果と課題を見るためにも活用するものでもあります。

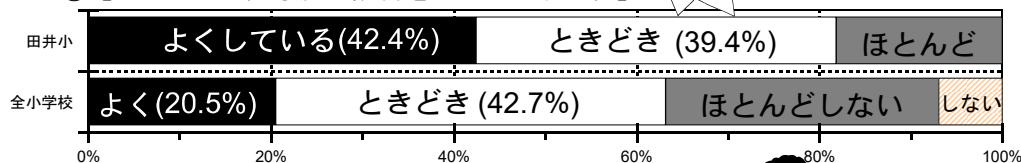
ここでは12月実施の保護者アンケートの結果から、特徴的なものを紹介します。

①【お子さんは家庭学習に一生懸命取り組んでいますか。】



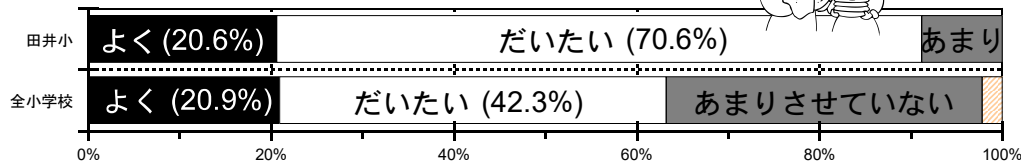
学校で学んだことを定着させるための大切な取組です。さらなる継続でより確かな習慣化を目指しましょう。

②【お子さんは、家庭で読書をしていますか。】



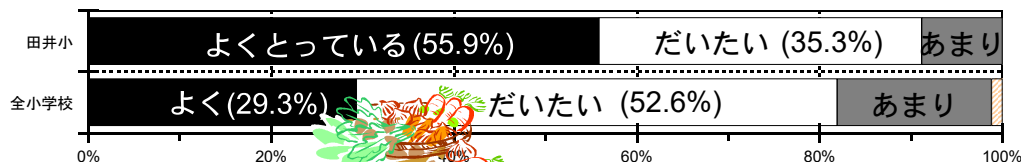
『四つ葉運動』の一つです。学力向上とも関係する田井小のよき伝統を、今後も協力して継続していきましょう。

③【お子さんに、手伝いや仕事をさせていますか。】



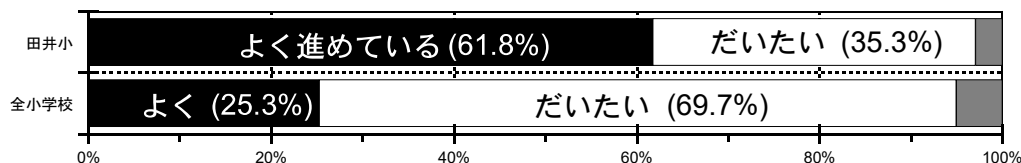
『四つ葉運動』の一つです。家族の一員として、自分が役立つという意識と習慣を今後も継続していきましょう。

④【お子さんは、野菜をたくさん摂取し、バランスのとれた食事をしていますか。】



学校ではなんともできないことです。感謝です。児童のよき成長のため、今後もよろしくお願いいたします。

⑤【学校は、地域の特色を生かした学校づくりを進めていると思いますか。】



保護者・地域の皆様のご理解とご支援がなくてはできないことです。今後もよろしくお願いいたします。

特によい傾向にある内容を掲載しました。これらは学校だけの成果ではなく、保護者・地域の皆様と共有する成果です。他に特に目立って下回る項目はありませんでした。

ですが、一人一人に目を向けると、それぞれに課題が見えています。残りの約1ヶ月、少人数を生かした個々への指導を継続すると共に、学校全体の成果と課題をもう一度しっかりと整理し、次年度につなげたいと思います。

(校長 伊藤芳文)

スキー教室in須原スキー場(2月10日)



1月下旬からグラウンドでのスキー授業を行ってきました。2月に入り3日(金)は1・2年生は越後丘陵公園でソリを、3～6年生は栃尾でスキーを、そして、この日は天候にも恵まれ、全校が一日、須原スキー場でスキーを楽しみました。

6名のボランティアの方々からも指導をいただき、見る見る間に上達していく子どもたち。技術面でも体力面でも、そして、冬のスポーツに親しむという態度面でも大きく成長した子どもたちでした。

ボランティアの皆様、ありがとうございました。



感謝の気持ちを(2月9日)



月に一度の読書ディ。図書委員会が図書館清掃ボランティアを募集したところ、昼休みに大勢が集まり、図書の整理や普段できない箇所をきれいにし、感謝の気持ちを表しました。いいことです。



おはなしの部屋(2月7日)

「おはなしの部屋」と題した職員による今年度3回目の読み聞かせ。今回も普段教室では読み聞かせをする機会がない組合せ(中学年には低学年担任が等)で、各学年に応じた本を取り上げました。

様々な読書活動を通し、子どもたちは田井小が目指す『本が好きで進んで読書する子』に育っています。



高学年には中学年担任が

エコキャップを(2月8日)

保健給食委員会が、ふぁみりあにこの一年間で集まったペットボトルのキャップを届けてきました。その量は40.8kg、1万6千個以上になりました。

館長さんからは、エコキャップはリサイクルされ、いろいろな所で再利用されることやその重要性について教えてもらいました。ご家庭の御協力に感謝申し上げます。



ふぁみりあの八木館長さんに

最後の「みつばの森推進協議会」(2月2日)

県の学校のみどり創出モデル事業として取り組んできた「みつばの森」。最後の協議会が開かれ、看板の裏に表記される内容、そして、4月からは教育委員会の管理の下、日常的な管理は学校で、除草等の整備はPTA・コミュニティと連携した中で進めていくことを確認し、3年間の幕を閉じました。

